

事業報告書

1. 法人の概要

法人の名称 学校法人 朝陽学院
 所在地 〒545-0002
 大阪市阿倍野区天王寺町南2丁目8番19号
 設立 大正4年8月19日

1.1 建学の精神

『人徳を経とし、実務を緯とする』を礎とした人財の育成

1.2 学校法人の沿革

(1)法人の沿革

大正 4年 8月 19日 小西薬剂学校校舎建設用地取得、創設準備
 大正 6年 12月 5日 私立小西薬剂学校開校
 昭和 3年 4月 9日 大阪小西女子商業学校設立
 昭和 4年 3月 13日 大阪女子商業学校認可
 昭和 8年 4月 4日 財団法人小西学園に組織変更
 昭和 26年 3月 13日 学校法人朝陽学院に組織変更

(2)学校の沿革

昭和 3年 4月 9日 大阪小西女子商業学校設立
 昭和 4年 3月 13日 大阪女子商業学校認可
 昭和 4年 5月 1日 大阪女子商業学校を開校
 昭和 6年 9月 1日 現在地に移転
 昭和 21年 12月 20日 朝陽幼稚園設置認可
 昭和 22年 4月 1日 朝陽中学校に改称
 昭和 23年 4月 1日 朝陽高等学校を設置、附属中学校を設置
 昭和 25年 1月 17日 朝陽高等学校附属幼稚園設置認可
 昭和 27年 12月 1日 大阪女子商業高等学校、同附属中学校、同附属幼稚園に名称変更
 平成 7年 4月 1日 大阪女子高等学校、同附属中学校、同附属朝陽幼稚園に名称変更
 平成 18年 3月 31日 大阪女子高等学校附属中学の廃止認可
 平成 26年 4月 1日 女子高から男女共学校に移行し、あべの翔学高等学校に名称変更

1.3 設置する学校・学科等

No.	学校	学科等	所在地
1	あべの翔学高等学校	全日制課程 普通科/商業科	〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19 TEL 06-6719-2801
2	朝陽幼稚園		〒545-0031 大阪市阿倍野区橋本町6-16 TEL 06-6661-2996
3	あべの翔学高等学校 附属朝陽幼稚園		〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2-26-32 TEL 06-6719-2710

1.4 学校・学科等の学生数の状況

令和3年5月1日現在 (単位:人)

学校名	No.	学則定員数	現員数	摘要
あべの翔学高等学校	普通科	1	960	786
	商業科	2	480	-
	小計	3	1,440	786
朝陽幼稚園	4	175	85	
あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園	5	215	175	
合計	6	1,830	1,046	

1.5 役員及び評議員の概要

令和3年5月1日現在 (単位:人)

区分	No.	定員数	人数	摘要
役員	理事長	1	1	
	理事	2	6	
	監事	3	2	
評議員	4	17	15	

1.6 教職員の概要

令和3年5月1日現在 (単位:人)

No.	区分	教員			職員			合計
		本務	兼務	計	本務	兼務	計	
1	法人本部	-	-	-	4	0	4	4
2	あべの翔学高等学校	57	8	65	7	3	10	75
3	朝陽幼稚園	11	1	12	2	0	2	14
4	あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園	11	2	13	2	0	2	15
5	合計	79	11	90	15	3	18	108

2. 事業の概要

2.1 あべの翔学高等学校

(1)事業の概要

以下を基本方針とし、教育活動を行っています。

- ①「進学を目指すあべの翔学」として共学に移行した。今後ともこの方針を継続し、将来的な目標として中堅の進学校を目指す。
- ②学力だけではなく「こころ」の面での成長を大切にし、生活指導面での厳しくもきめ細やかな指導をとおして社会生活に適切に対応し、活躍できる教育活動を実践する。
- ③学校行事や文化行事などとおして、豊かな「こころ」を育む人間教育を実践する。

(2)主な事業の目的・計画及びその進捗状況

①生活指導

遅刻の状態化、制服(ネクタイ・リボン着用)の正しい着用等、学校生活の基本を身に着けることを目的に「遅刻重点指導週間」を設け、全教員が主体となって遅刻対応、生活指導を徹底しました。

今後も「遅刻重点指導週間」を継続すると共に、制服、頭髪指導も徹底し、マナー向上に努めて参ります。

②入試対策

令和3年度入学者は224人であり前年度比87名と大幅に減少しました。前年度から大幅に入学者が減少した原因を分析し、当校に不足している教育内容、教育設備を整備して行きたいと思えます。

なお、令和4年度入学者は237名(内、特進Ⅰ類コース12名、特進Ⅱ類コース23名)となりました。

③進路指導

令和3年度卒業生の進学者比率は81%(前年比+1%)となりました。

なかでも大学進学率が40%に伸びてきたことは、これまでの進路指導の成果が出始めた結果であると思えます。

(単位:人、%)

No.	項目	進学者				就職者他			合計
		大学	短大	専門・各種	小計	就職	未定	小計	
1	男性	68	3	51	122	20	14	34	156
2	女性	37	18	37	92	9	8	17	109
3	合計	105	21	88	214	29	22	51	265
4	構成比(%)	40	8	33	81	11	8	19	100
5	令和2年度構成比(%)	36	5	38	80	10	10	20	100

2.2 朝陽幼稚園及びあべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園

(1)事業の概要

以下を基本方針とし、教育活動を行っています。

- ①心身ともに健康で基本的な生活習慣を身につける。
- ②一人一人の個性を大切に、人間性豊かな創造力を育てる。
- ③正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる。
- ④思いやりをもってだれとでもなかよく遊べるように育てる。
- ⑤社会に貢献する人格の形成をめざす。

(2)主な事業の目的・計画及びその進捗状況

①英語教育の充実

幼児期に言語野が最も発達することから、保育時間内にネイティブによる英語教室を開催し、小学校の英語教育で遅れをとらないようにします。

②未就園対策の充実

0歳～1歳児対象の園庭解放、2歳児対象プレ保育の保育教育の内容充実を行いました。

2.3 施設等の状況

(1)現有施設設備の所在地等

主な施設設備の状況は次のとおりです。

令和3年5月1日現在 (単位:㎡)

No.	学校名	校地面積	校舎面積	摘要
1	あべの翔学高等学校	9,057	9,108	
2	朝陽幼稚園	1,254	1,026	
3	あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園	1,249	847	
4	合計	11,560	10,981	

(2)主な施設・設備の取得及びその進捗状況

①あべの翔学高等学校

(単位:千円)

No.	項目	内容・目的等	取得時期	金額
1	運動場人工芝化	運動場の人工芝化による運動環境改善	令和4年3月	15,401
2	教員IT化	教員用ノートPC×50台、iPad×60台	令和3年9月	7,754
3	教室IT化	教室へのプロジェクタ設置等	令和3年11月	4,487
4	車両	中型ワゴン ※運動クラブ等の移動に利用	令和3年11月	3,430
5	その他		-	9,689
6	合計		-	40,761

②朝陽幼稚園

(単位:千円)

No.	項目	内容・目的等	取得時期	金額
1	教育設備	2階可動間仕切り、床工事	令和4年3月	2,505
2	その他		-	635
3	合計		-	3,140

③あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園

(単位:千円)

No.	項目	内容・目的等	取得時期	金額
1	遊具修理	六角タワー修理	令和3年11月	2,468
2	その他		-	1,460
3	合計		-	3,928

3. 財務の概要

3.1 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は当該会計年度における収入と支出の内容を明らかにし資金の流れを明らかにしたものです。

前年度繰越支払資金7億7,364万円を含めた令和3年度の収入の部合計は、19億6,183万円(前年度比+1億1,146万円)、支出の合計は9億9,258万円(前年度比△1億8,415万円)、この結果、令和4年度への繰越支払資金は9億6,925万円(前年度比+1億9,561万円)となっています。主な対前年度の増減要因は以下のとおりです(収入の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	学生生徒等納付金収入	488,827	431,213	-57,614	あべの翔学高等学校生徒数111名減
2	補助金収入	539,161	477,130	-62,031	
3	その他	674,904	756,980	82,076	
4	合計	1,163,731	1,188,193	24,462	
5	前年度繰越支払資金	786,640	773,640	-13,000	
6	収入の部合計	1,950,371	1,961,833	11,462	

(支出の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	人件費支出	582,742	635,726	52,984	
2	教育研究経費支出	136,241	141,598	5,357	
3	管理経費支出	43,136	46,657	3,521	
4	施設・設備関係支出	89,742	47,829	-41,913	項2.3(2)参照
5	その他	324,870	120,771	-204,099	
6	合計	1,176,731	992,581	-184,150	
7	次年度繰越支払資金	773,640	969,252	195,612	
8	支出の部合計	1,950,371	1,961,833	11,462	

3.2 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は当該会計年度の事業活動の内容と均衡状態を示し、経営状況を明らかにしたものです。令和3年度の教育活動収支差額は1億3,549万円(対前年度比△1億1,523万円)、教育活動外収支差額は61万円、この結果経常収支差額は1億3,610万円(対前年度比△1億1,395万円)となりました。

特別収支差額△22万円を含めた基本金組入前当年度収支差額は1億3,588万円(対前年度比△1億1,470万円)となりました。主な対前年度の増減要因は以下のとおりです。

(事業活動収入の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	教育活動収入 計	1,115,548	1,051,137	-64,411	あべの翔学高等学校生徒数111名減
2	教育活動支出 計	864,825	915,645	50,820	
3	教育活動収支差額	250,723	135,492	-115,231	
4	教育活動外収支差額	-661	615	1,276	
5	経常収支差額	250,062	136,107	-113,955	
6	特別収支差額	528	-223	-751	
7	基本金組入前当年度収支差額	250,590	135,884	-114,706	
8	当年度収支差額	138,034	68,900	-69,134	
9	翌年度繰越収支差額	-827,109	-754,340	72,769	

3.3 貸借対照表の概要

貸借対照表は年度末における資産・負債・基本金および収支差額を把握し財政状態を分析するものです。

令和3年度の資産の部合計は49億7,862万円(対前年度末比+2億5,049万円)、主な増加要因は資金収支改善による資金増によるものです。

負債の部合計は3億6,130万円(対前年度末比+1,460万円)、その内、未払金が対前年度末比7,436万円減少したことが主な偏差です。

主な対前年度末の増減要因は以下のとおりです。

(資産の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	有形固定資産	3,297,412	3,242,870	-54,542	
2	有価証券(長期)	201,470	302,281	100,811	
3	現金預金	773,640	969,252	195,612	
4	未収入金	36,996	49,305	12,309	
5	有価証券(1年以内)	100,000	0	-100,000	
6	その他	318,612	314,915	-3,697	
7	資産の部 合計	4,728,130	4,878,623	150,493	

(負債の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	長期借入金	161,850	149,400	-12,450	
2	退職給与引当金	33,430	20,105	-13,325	
3	未払金	15,328	89,690	74,362	
4	前受金	34,965	32,880	-2,085	
5	その他	101,130	69,230	-31,900	
6	負債の部 合計	346,703	361,305	14,602	

3.4 経年比較

(1)資金収支計算書

(単位:千円)

No.	科目	平29年度	平30年度	令和元年度	令和2年度	当年度	対前年度比
1	学生生徒等納付金収入	234,217	298,696	348,872	488,827	431,213	-57,614
2	手数料収入	28,800	27,833	28,188	23,112	21,701	-1,411
3	寄付金収入	10,418	12,688	4,595	2,043	13,837	11,794
4	補助金収入	476,304	539,953	613,997	539,161	477,130	-62,031
5	資産売却収入	0	0	0	721	2,000	1,279
6	付随事業・収益事業収入	38,561	41,240	40,291	33,575	39,373	5,798
7	受取利息・配当金収入	131	217	400	818	1,858	1,040
8	雑収入	36,672	49,812	21,016	17,020	67,824	50,804
9	借入金等収入	0	0	0	0	0	0
10	前受金収入	60,676	49,057	49,631	34,965	32,880	-2,085
11	その他の収入	3,576	47,277	91,746	109,905	135,317	25,412
12	資金収入調整勘定	-41,709	-101,311	-67,350	-86,416	-34,940	51,476
13	前年度繰越支払資金	748,783	745,513	698,142	786,640	773,640	-13,000
14	収入の部 合計	1,596,429	1,710,975	1,829,528	1,950,371	1,961,833	11,462
No.	科目	平29年度	平30年度	令和元年度	令和2年度	当年度	対前年度比
15	人件費支出	571,247	536,607	552,119	582,742	635,726	52,984
16	教育研究経費支出	184,509	203,658	185,421	136,241	141,598	5,357
17	管理経費支出	47,791	53,411	50,127	43,136	46,657	3,521
18	借入金等利息支出	2,575	2,236	1,854	1,479	1,242	-237
19	借入金等返済支出	55,667	57,450	59,513	37,446	26,868	-10,578
20	施設関係支出	5,259	30,203	77,204	6,600	23,394	16,794
21	設備関係支出	18,104	27,788	19,946	83,142	24,435	-58,707
22	資産運用支出	0	100,000	0	200,320	1,309	-199,011
23	その他の支出	-7,467	63,707	60,279	103,272	124,120	20,848
24	資金支出調整勘定	-26,769	-62,227	36,425	-17,647	-32,768	-15,121
25	次年度繰越支払資金	745,513	698,142	786,640	773,640	969,252	195,612
26	支出の部 合計	1,596,429	1,710,975	1,829,528	1,950,371	1,961,833	11,462

(2)事業活動収支計算書

(単位:千円)

No.	科目	平29年度	平30年度	令和元年度	令和2年度	当年度	対前年度比
1	学生生徒等納付金	234,217	298,696	348,872	488,827	431,213	-57,614
2	手数料	28,800	27,833	28,188	23,112	21,701	-1,411
3	寄付金	2,518	1,303	4,595	2,043	13,837	11,794
4	経常費等補助金	476,304	539,953	613,997	539,161	477,130	-62,031
5	付随事業収入	38,561	41,240	40,291	33,575	39,373	5,798
6	雑収入	36,752	49,812	21,015	28,830	67,883	39,053
7	教育活動収入計	817,152	958,837	1,056,958	1,115,548	1,051,137	-64,411
8	人件費	568,288	529,501	554,870	582,650	622,404	39,754
9	教育研究経費	270,952	293,983	281,729	238,530	245,923	7,393
10	管理経費	48,661	54,040	50,332	43,613	46,934	3,321
11	徴収不能額等	0	0	0	32	384	352
12	教育活動支出計	887,901	877,524	886,931	864,825	915,645	50,820
13	教育活動収支差額	-70,749	81,313	170,027	250,723	135,492	-115,231
14	受取利息・配当金	131	217	400	818	1,857	1,039
15	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0
16	教育活動外収入計	131	217	400	818	1,857	1,039
17	借入金等利息	2,575	2,236	1,854	1,479	1,242	-237
18	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0
19	教育活動外支出計	2,575	2,236	1,854	1,479	1,242	-237
20	教育活動外収支差額	-2,444	-2,019	-1,454	-661	615	1,276
21	経常収支差額	-73,193	79,294	168,573	250,062	136,107	-113,955
22	資産売却差額	0	0	0	722	2,000	1,278
23	その他の特別収入	7,900	11,386	0	0	0	0
24	特別収入計	7,900	11,386	0	722	2,000	1,278
25	資産処分差額	0	0	9,230	194	2,202	2,008
26	その他の特別支出	0	0	0	0	21	21
27	特別支出計	0	0	9,230	194	2,223	2,029
28	特別収支差額	7,900	11,386	-9,230	528	-223	-751
29	基本金組入前当年度収支差額	-65,293	90,680	159,343	250,590	135,884	-114,706
30	基本金組入額合計	-207,732	-115,369	-148,121	-112,556	-66,984	45,572
31	当年度収支差額	-273,025	-24,689	11,222	138,034	68,900	-69,134
32	前年度繰越収支差額	-1,152,869	-1,012,355	-1,012,473	-982,201	-827,102	155,099
33	基本金取崩額	413,539	24,571	19,050	17,058	3,862	-13,196
34	翌年度繰越収支差額	-1,012,355	-1,012,473	-982,201	-827,109	-754,340	72,769

(3)貸借対照表

(単位:千円)

No.	科目	平29年度	平30年度	令和元年度	令和2年度	当年度末	対前年度比
1	固定資産	3,669,763	3,737,908	3,729,343	3,811,834	3,854,153	42,319
2	流動資産	778,881	743,427	810,617	916,296	1,024,470	108,174
3	(内、現預金)	(745,513)	(698,142)	(786,640)	(773,640)	(969,252)	(195,617)
4	資産の部合計	4,448,644	4,481,335	4,539,960	4,728,130	4,878,623	150,493
5	固定負債	373,868	319,587	276,279	234,669	197,165	-37,504
6	流動負債	193,962	190,254	132,844	112,034	164,140	52,106
7	負債の部合計	567,830	509,841	409,123	346,703	361,305	14,602
8	基本金の部合計	4,893,169	4,983,967	5,113,038	5,208,536	5,271,658	63,122
9	消費収支差額の部合計	-1,152,869	-1,012,473	-982,201	-827,109	-754,340	72,769
10	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,308,130	4,481,335	4,539,960	4,728,130	4,878,623	150,493

以上